

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年10月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2019年10月度ギャラクシー賞月間賞

ポツンと一軒家 2時間半スペシャル

10月13日放送 18:30~20:56 朝日放送テレビ

中高年を中心にしっかりした視聴率基盤を築いたことがまず評価できる。さらにこのスペシャルでは、希少なシマフクロウの保護というジャーナリスティックではあるがセンシティブな問題を扱う。報道ではなく、人物とその暮らしに焦点を当てる教養バラエティであるからこそ伝えられるもので、価値の高いものとなった。

NHKスペシャル「東京ブラックホールⅡ 破壊と創造の1964年」

10月13日放送 21:00~21:59 日本放送協会

55年前の東京オリンピックが日本にとって何だったのかを見事に総括しながら、今大会への問題提起にもなっていた。企画、演出、構成を高く評価したい。歴史を追体験するドラマパートや当時の膨大な実写映像が興味深く、現在の日本が抱える課題の多くが1964年をきっかけにあらわになったという指摘には説得力があった。

NNNドキュメント'19「なかったことに、したかった。未成年の性被害①」**NNNドキュメント'19「なかったことに、できない。性被害② 回復への道は」**

10月6日、13日放送 25:10~25:39 25:05~25:34 日本テレビ放送網

少女の時に身近な家族や学校の先生から性暴力を受け、それを誰にも言えずに苦しみだけを抱えて成長した女性たちの証言が胸をえぐる。自らを毒壺のようにしか思えない、とまで言わせる性犯罪の恐ろしさを明確に伝え、二次被害を与えないよう啓蒙する具体的な示唆に富んだ意義深い番組。ワンストップ支援センターの情報も有益である。

有田Pおもてなす「P55 ムロツヨシ シソンヌ&ラバガが珠玉のコントを披露！」

10月19日放送 22:10~22:45 日本放送協会

ラバーガールのコントにオードリー・春日俊彰、四千頭身・後藤拓実、ヨーロッパ企画が「入れ替わる」形で参加。ムチャ振りした当人である有田が「これはスゴいわ！盗られるよ、アメリカのエンターテインメントに！新しい合同ライブの形」と絶賛したとおりの面白さが増幅されていた。ムチャ振りに応える芸人たちの創意工夫と技術が見事。